

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
https://japan.otakaranews.com

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

SECO

顧客の二酸化炭素排出量削減をサポート

自社の取り組みや研究開発をユーザー支援に活用
個客の機械加工における二酸化炭素排出量の削減を支援

ユーザーのCO2削減を
セコ・ツールズが支援

セコ・ツールズは、自社の環境に対する影響を低減するという目標の一環として、自社製品のライフサイクル分析および生産工程のマッピングを行う方法を確立しているが、これを次のステップとして、このほど顧客の二酸化炭素排出量の削減に向けた支援に活用する取り組みを開始した。

表記のグラフは、処理事業におけるCO2排出量の削減の可能性を示す棒グラフだが、このモデルには機械、工具、クーラントの二酸化炭素排出量および電力消費量が含まれている。

セコ・ツールズでは、サステナビリティは、セコ・ツールズの戦略的重点分野の1つに位置付けている。また、セコ・ツールズは、国連のグローバル

目標に沿って気候改善に貢献する意欲的な目標を設定するとともに、そのための綿密な計画を策定している。

セコ・ツールズは確立された計算方法により、自社の生産によって生じる温室効果ガスの排出量を報告するとともに、次のステップとして、個客によるセコ・ツールズ製品の使用を最適化することで、環境への影響を低減できるシステムを開発している。

セコ・ツールズの研究開発部門切削条件エキスパートのSören Hägglund博士は、「適切な選択を行い、正しい切削条件を使用して、個々の部品を生産する際の部分的な最適化を回避することで、お客様の二酸化炭素排出量を20%以上削減できます。これは、各種パラメータを変更することで最適な部品の生産方法を見つけるという考え方です」と強調する。

これを実現するために、セコ・ツールズの研究開発部門ではさまざまな生産プロセスをシミュレートし、加工方法、機械、戦略、工具の選択など、特定の品目を製造するためのさまざまな代替手段を試すことができるソフトウェアを開発した。

セコ・ツールズのシニア研究開発プロフェッショナルのDaniel Johansson博士によれば、「例えば、特定の生産工程で機械や工具を活用できているか確認することができます。機械や工具の性能が十分に発揮されていないことが判明した場合は、二酸化炭素排出量を最小限に抑えるために他の方法を選択する方が有益である場合があります」と指摘する。

Daniel Johansson博士によると、それには二酸化炭素排出量を削減する方法をユーザー自身が簡単に確認できることが重要であり、ユーザーにとって

も特に大きなメリットになることから、多くのユーザーから要望されているという。

Daniel Johansson 博士は、「持続可能な製造の需要は高いものの、機械加工業界の大半にはソリューションは導入されていないでしょう。当社のソリューションの独自性は、当社の製品だけでなく、お客様のプロセスも含めてお客様の生産における二酸化炭素排出量を最小限に抑える機会を提供できる点にあります。自動車業界の用語を借りると、セコ・ツールズはいわゆるEcoボタンを提供するのです」と強調する。

セコ・ツールズは、サステナビリティの問題以外にも、デジタルソリューションを最前線で牽引し続けるという目標に沿ってこの取り組みを進めている。

セコ・ツールズの研究開発部門切削条件エキスパートのSören Hägglund博士は、「研究開発部門では、将来使用できる技術や、他のデジタルソリューションの基盤として使用できる技術の開発に重点的に取り組んでいます。現在、セコ・ツールズのソリューションはパブリックアプリケーション向けには提供されていません。ただ、長期的には外部で使用するためのインターフェースを提供できるようになると考えています」と自信を渗ませた。

